

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 9月26日更新

事務事業名	重度心身障害者医療費助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名 三苫 幸浩
	施策	8	障がい者(児)の自立と社会参加の促進		所属課	福祉課	担当者名 米岡 佑樹
	施策の柱	29	障がい者(児)への総合的な支援及び福祉サービスの充実		所属班	障がい福祉班	(内線) 1150
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	熊本県重度心身障害者医療費助成事業費補助金交付要領、合志市重度心
	一般	3	1	3	10529		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	重度心身障がい者(身体障害者手帳1・2級、療育手帳A1・A2、精神障害者保健福祉手帳1級所持者)の医療費の負担を軽減するため、医療費の一部(通院の場合1医療機関につき月に1,020円、入院の場合1医療機関につき月に2,040円を超えた分)を助成する。※所得による支給制限あり。重度心身障がい者の医療費の負担を軽減するため、昭和48年度より実施。平成18年施行の障害者自立支援法の影響により、助成対象経費の範囲が拡大した。また平成20年度から、はり、きゅう、あんま、マッサージ、柔道整復等の施術費も助成対象経費となった。
【業務の流れ】	①受給資格者認定申請受付(新規手帳交付者等)→受給資格の審査、決定→受給資格者証の交付②毎年8月に受給資格の見直し(所得状況の確認)③医療費の助成申請受付→審査→助成金の支給(診療月の3月後の25日)
【主な予算費目】	報酬、印刷製本費、役員費、扶助費
【意見や要望】	重度障がい者世帯の経済的支援策として有用なものとなっている。特に要望等は見られない。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	重度心身障がい者の医療費の負担を軽減するため、医療費の一部を助成した。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		重度心身障がい者の医療費の負担を軽減するため、医療費の一部を助成する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ア:助成金額	イ:	重心受給者証印刷代(2年に1回)が減額となった。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	重度心身障がい者の医療費の受給資格者。	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
→ア:受給資格者	イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	重度心身障がい者の医療費の一部を助成することにより医療費の軽減を図る。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 人
→ア:延べ助成人数	イ:	
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
重度心身障がい者の医療費負担の軽減を目的とした事業であり、延べ助成人数を指標とした。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア	千円	85,141	83,681	85,000	77,951	86,000	87,000	88,000	89,000
	イ									
	合計									
② 対象指標	ア	人	1,071	1,076	1,110	1,078	1,110	1,110	1,110	1,110
	イ									
③ 成果指標	ア	人	12,356	12,641	11,200	11,764	11,300	11,400	11,500	11,600
	イ									
投資 入 費 量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円	41,442	44,364	42,600	43,717	42,000	42,600	42,600	42,600
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	44,259	40,097	43,779	36,627	43,131	43,731	43,731	43,731
	(A)事業費計	千円	85,701	84,461	86,379	80,344	85,131	86,331	86,331	86,331
(A)のうち指定経費	千円	85,576	84,363	86,223	79,018	85,054	86,190	86,190	86,190	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	6	3	6	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	795	1,360	520	1,355	520	520	520	520
	(B)人件費計	千円	2,951	0	2,071	5,360	2,071	2,071	2,071	2,071
	トータルコスト(A)+(B)	千円	88,652	84,461	88,450	85,704	87,202	88,402	88,402	88,402

事務事業名	重度心身障害者医療費助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 障がい者手帳所持者、申請件数が増加傾向にあり適切な支給決定に努める。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 制度周知等は行っており、現状において向上余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はなく統合できない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 経済的支援のため削減余地はない
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 非常勤職員の任用により医療費の端末入力等をしてもらっており、職員の業務を軽減している
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 所得要件を設けており公平である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 重度心身障がい者の医療費負担を軽減する事業であり、市が実施することが適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

重度心身障がい者の医療費負担の軽減を目的とした事業であり、助成件数が増加している。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					